

1 競技規則

(1) 本大会は、令和7年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び競技上の諸注意に則り行う。

(2) 競技時間については、男女とも25分－10分－25分、タイムアウト前後半3回とする。

規定の時間内で勝敗が決しない場合、1回戦は後半終了後、7mTC(5名)を行う。

2回戦と準決勝は第1延長、決勝は第2延長まで行う。それでも決しない場合は7mTC(5名)を行う。

(3) 試合球は、モルテン(d60シリーズ)、ミカサ(HBシリーズ)を使用する。

①試合球は男子2号球、女子1号球とし、(公財)日本ハンドボール協会検定球を使用する。

(4) 競技会場について

8月8日(金)	男女 1回戦	会場・広さ	使用ボール
8月9日(土)	男女 2回戦	水海道総合体育館・坂東市 LIXIL 総合体育館 常総運動公園総合体育館(40m×20m)	第1・3・5試合 ミカサ
8月10日(日)	男女 準決勝/決勝		第2・4・6試合 モルテン

2 競技場の諸注意：《重要事項》チーム責任者は、以下についてチーム及び応援者に周知し徹底を図ること。

【代表者会議での確認】

(1) アイマスク・コルセット・プロテクター等を身につけたい場合

①日本ハンドボール協会が定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。

②装具は代表者会議に持参し、会議終了後、競技委員長と審判長の確認を受ける。

(2) チーム帯同のトレーナーについて

①代表者会議前の受付でトレーナー帯同申請書を提出し、競技委員長の許可を得た者に限る。

②トレーナー席での写真や動画撮影等は禁止とし、IDカードをつけてベンチ後方の席に座る。

(3) 選手、チーム役員の変更について

①代表者会議前までに選手変更を申し出た者に限る。変更届については事前にホームページにて配信済み。

(4) 外部指導者確認書について

①外部指導者が監督又は引率責任者の場合のみ、確認書を代表者会議前に提出し、許可を得た者に限る。

(5) 申し合わせ事項について

①代表者会議及び競技日にて、開催事務局から必要に応じ連絡を受けて、大会運営に協力すること。

【試合前の確認】

(1) トス、ユニフォームおよび登録証の確認について

①第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は前の試合の前半終了直後に、オフィシャル席にて行う。

ただし、決勝戦については試合開始30分前に試合コートにてコイントスを行う。

②代表者は、申込時に記載したCP・GKのユニフォーム(計4色以上)と登録証(学校管理職及びトレーナーを除く)を持参し、審判員・テクニカルオフィシャル(以下TO)の許可を得る。

③プログラム(選手変更含む)を使用するので、メンバー表の提出は必要としない。

(2) 選手の服装等について

①ユニフォームの外にアンダーウェアが出るようであれば、ユニフォームの基調色と同色でなければならない。着用しない選手にあってはその限りではない。また、基調色以外にユニフォームに使用されている色のアンダーウェアの着用が認められる。その場合、試合前に認められたチームで統一された色でなければならない。ソックスの色や長さは、チームで統一すること(メーカーのロゴは問わない)。

②ハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。

③松ヤニ及び松ヤニスプレーの持ち込み及び使用は認めない。なお、違反した場合は、完全に除去されたことが確認されるまで競技に参加できない。

④爪は相手に傷をつける要因となるため、きちんと切っておくこと。

- ⑤一時的な GK は、コートプレーヤーとして通常持っている番号の GK ユニフォームを使用するか、登録された GK と同色のゼッケンを着用することも許される。（ゼッケン穴あけは必要なし）

(3) チーム役員の服装や節度等について

- ①服装の上着は襟付きで、色は相手チームのユニフォームと同色のものは着用できない。
コイントス時に相手のユニフォームの色を確認し、同色の場合は試合開始前までに対応すること。
- ②服装の下履きはズボンで、色は黒、紺、茶系の落ち着いた物を着用すること。
- ③試合中の言動は指導者として節度あるものとなるようにする。言動により警告等を与える場合がある。
また状況により試合後、競技委員長及び大会事務局からの指導、主催者への報告を行う場合がある。

【試合開始前の確認】

(1) ベンチの人数等について

- ①監督 1 名・役員 3 名及び選手 15 名の 19 名以内とする。
- ②チーム責任者は役員表示「A」、その他の役員は役員表示「B」～「D」をつけなければならない。
- ③トレーナーがいる場合は、トレーナー席に入ることを認める。AD カードを着用する。

(2) 公式記録用紙について

- ①試合開始前、監督(役員A)はオフィシャル席に行き、公式記録用に記載されている選手 15 名以内とチーム役員 4 名以内を確認しサインをする。
- ②試合終了後にレフェリー・TO が記録用紙を確認して、サインすることによって公式記録が成立する。

(3) 試合中の個人の荷物管理について

- ①ベンチでは各自、荷物入れ等を持参し、個人の荷物管理を徹底する。

(4) 公示時計（加算式）を使用し、タイムアウトはホーンで、試合終了の合図もホーンで行う。

ただし、ブザーが聞こえにくい場合は、TO の笛の合図で対応する。

(5) 電光掲示板について

- ①チーム表示は、トーナメント若番が左側で表示となる。そのため、前後半で左右の表示を入れ替えない。
- ②退場者の再入場については、公示時計及び退場者タイマーを見て行う。
電光掲示板の故障等により電光掲示ができない場合は、オフィシャル席に再入場時間を掲示する。

(6) タイムアウトカードについて

- ①ジャッジテーブル席横の座席に設置してある。そのため、チームベンチにカードを置かないこととする。
- ②タイムアウトを取る場合は、コーチングゾーンを出て番号を間違えないようにタイムアウトカードを取りジャッジテーブルに置く。なお、コーチングゾーンを出ていたら、カードを手にしてすみやかに置くこと。
タイムアウト申請以外でコーチングゾーンを出た場合、警告又は退場処分となるため注意すること。
- ③チームタイムアウトは請求カードをオフィシャル席に届いた時点で認める。

【競技中の確認】

(1) 試合の入退場時について

- ①入場はサイドラインから中央に向かって一斉に入場し、審判の指示に従いあいさつをする。
- ②試合終了後、ベンチの荷物を速やかに撤収し、ごみを拾い、濡れた場所をきれいに拭いておく。

(2) 交代地域のコーチングゾーン規定について

- ①センターラインから 3.5m の位置を始点とし、アウターゴールラインから 8 m を終端とする。

(3) 試合に途中出場するためのアップについて

- ①交代地域の後ろ側でのボールを使わない状態でのウォーミングアップは許される。

(4) 給水について

- ①床が濡れた場合は速やかに雑巾できれいに拭き取ること。（各チームで雑巾等を準備しておく）

【試合中の保護者等の応援について：詳細は会場の諸注意について参照】

- 相手チームや審判への侮辱的発言、過度な応援等、言動には十分配慮するように周知徹底すること。